

家庭学習の習慣

「家庭学習を習慣化して学力アップ!」

こんなことはありませんか?

小学校2年生のともきさん。1年生の時は、学校から帰るとすぐに、大喜びで宿題プリントをやっていたのですが、2年生になってからは、友だちが増えて大忙し。

ランドセルを玄関に置いたままで、遊びに行ってしまう。

「ともくん、宿題はいいの?」

「あとで、やるからいいよ。」

ひきとめる間もなく、もう姿がありません。

遊びから帰ってくると、すぐにテレビを見始めます。

「勉強しなくていいの?」

と声をかけても応じず、結局夜遅くなってから宿題をやっています。



ワーク1

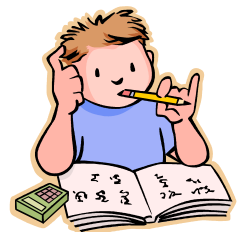
あなたがともきさんの保護者だったら、どうしますか?
家庭学習で、困っていることはありませんか?

.....

.....

.....

.....



ワークシート2

ワーク2

「家庭学習の習慣」をつけて、自分から進んで学習に取り組める子にするために、家庭で心がけていることを交流しましょう。



◇他の方の意見をメモしましょう◇



いいね!



いいね!

今日気が付いたこと、わが家でもやってみようと思ったことは何でしたか？



今日からぜひやってみてくださいね。お疲れ様でした。



子どものやる気を高め、家庭学習の習慣をつけるためには、家族全員の温かいサポートが必要だよ。「どんな勉強をしているのかな。」という気持ちで、子どもの学習の様子を見守って、落ち着いて取り組める環境にすることが大切だね。子どもが家庭学習に取り組んでいる時は、家族も静かに何かに取り組むといいね。

実践カード

こつこつ!ぐんぐん!おうちべんきょう

☆おうちべんきょうだいさくせん!

はじめるじこくをきめよう

_____ じ ふん

べんきょうじかん

_____ ふん

なまえ

☆おうちべんきょうをはじめる
じこくをきめよう。

☆きまったばしよで、べんきょうどうぐ
をそろえてはじめよう。

☆おわたたら、あすのもちものを
よういしよう。

☆おうちのひととそうだんして
きめよう。

さあ!

☆おうちべんきょうをやってみよう!

がつ ひ	/	/	/	/	/	/	/
ようび	にち	げつ	か	すい	もく	きん	ど
できた かな?							

※◎→じぶんからできた ○→いわれてできた △→できなかった でふりかえろう。

おもったこと

おうちのひとから

すごい!

☆こつこつ つづけて、ぐんぐん できるようになろう!

がつ ひ	/	/	/	/	/	/	/
ようび	にち	げつ	か	すい	もく	きん	ど
できた かな?							

※◎→じぶんからできた ○→いわれてできた △→できなかった でふりかえろう

家庭学習の習慣化には家族のサポートが必要!

低学年の子どもにとって、自然に家庭学習を習慣化することは難しく、家族のサポートが欠かせません。家庭学習は、生活のリズムと大きくかかわっているため、子どもの心と頭と体の生活リズムを理解して、子どもと一緒に、家庭学習の時刻や時間を決めたり、集中できる環境を整えたりすることが必要です。そして、自分で進んで取り組めるようになるまで、家族が呼びかけ、見守ることが大切です。

家庭学習を習慣化させるための秘訣は?



決めるときは

家庭学習開始時刻、時間を相談する

子どもの自主性を尊重しつつ、時間の使い方についてはサポートして、見守ることによって時間を大切にする意識が育ちます。※タイマーの利用も効果的

やる気を引き出す保護者の言葉

分からなくて困っていたらサポートして励まし、頑張っている努力を認めて褒めることで、家庭学習のやる気が続きます。

※「できた」「わかった」が学ぶ意欲に



取り組むときは

家庭学習する環境を整える

家庭学習の場所は、学習に集中できるように整理整頓をし、その時間は、家族も落ち着いて過ごしましょう。家族が見守って応援しているという気持ちを伝えることが大切です。

※翌日の持ち物の準備も習慣化を



続けるためには

学習時間だけでなく、何を使って、どう学習したらいいか? 学びの紹介をします



GIFU Webラーニング

GIFU Web ラーニング

検索

- ・「GIFUWebラーニング」は、パソコンなどを活用して算数の学習を行うものです。小学校全学年を対象としています。
- ・ログイン名とパスワードは、学校の先生から教えてもらいましょう。

○七宗町の取組紹介

家庭学習の習慣を身につけるためには、生活習慣全体を整える必要があります。また、継続的に取り組むことが大切です。

七宗町では、生活(Life)、学習(Study)、家庭・地域の支援(Support)という子どもを取り巻く3つの側面について、それぞれ3項目の具体的な取組を、保育園、小・中学校、家庭・地域が連携して町全体で推進しています。

L S S (Life Study Support)

～育ちの9づくり～

七宗第1保育園・上麻生中学校との縦の連携、家庭・地域との横の連携を大切にしています。『LSS』を合言葉に連携し、**基礎学力**の定着や児童のすこやかな**育ち**を応援しています。



子ども

3つの生活づくり

- ①早寝・早起き・朝ご飯
- ②時間を守ろう
- ③手伝いをしよう

学校

3つの学習づくり

- ①みんなで学習をしよう
(仲間と一緒に)
- ②家庭学習をしよう
(10分×学年+10分以上
宿題と自主学習)
- ③読書をしよう

家庭・地域

3つの支援づくり

- ①あいさつをしよう
(おはよう・こんにちは)
- ②声かけ・見届けをしよう
(ほめる・叱る)
- ③一家庭一実践をしよう
(家族みんなで)

育
ち

L…Life (生活)
S…Study (学習)
S…Support (支援)



上麻生小学校版

進行案

ねらい

- 家庭学習の習慣をつけ、自分から進んで学習に取り組む子にするためには、どのように環境を整えたらよいかを話し合ひましょう。

時間	進め方	留意点
10分	<p>はじめのこぼ</p> <p>「みなさん、こんにちは。本日は参加いただきありがとうございます。今日は『家庭学習の習慣』について考えましょう。」</p> <p>アイスブレイク</p> <p>「最初にみなさんで簡単なゲームを楽しみましょう。では、やり方を説明します。」</p> <p>◆グループ内で「となりのとなり」ゲームを通して自己紹介をする。(自分より前に自己紹介した人の名前を全部言ってから自己紹介)</p>	<p>◇笑顔で親しみやすい言動を心がける。</p> <p>小道具として「お茶」やちよっとした「お菓子」があると、やわらかい雰囲気を演出し、話も弾みやすくなる。</p>  <p>◇アイスブレイク「となりのとなり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタートの人は自分の名前を言う。(～です) ・その後は前の人すべての名前を言ってから自分の名前を紹介する。(～さんの隣の～です⇒～さんの隣の～さんの隣の～です) ・最後はスタートの人が全員の名前を言う。
30分	<p>3つの約束の確認</p> <p>「では、これから活動に入りますが、その中でみなさんに守ってほしい約束が3つあります。」</p> <p>◆3つの約束を確認する。</p> <p>ワークショップ</p> <p>「まず、ワークシートをご覧ください。」</p> <p>◆「こんなことはありませんか?」を読む。</p> <p><ワーク1></p> <p>「ともきくんの保護者だったらどうしますか?家庭学習で困っていることはありませんか?」</p> <p>◆ワークシートに考えをメモし、交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つい勉強しなさいとがみがみ言ってしまう。 ・夜遅くなると、しっかりできない。 ・だらだらと時間がかかってしまう。 <p><ワーク2></p> <p>「家庭学習の習慣をつけて、自分から進んで学習に取り組めるようにするために、心がけていることを交流しましょう。」</p> <p>◆ワークシートに考えをメモし、交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもと家庭学習の時間を決める。 ・認めて、褒めて、励ますとやる気が出たようだ。 ・学習する場の環境を整える。 ・家庭学習の時間は、家族も落ち着いて活動する。 	<p>◇「3 3つの約束」参照。</p> <p>◇家庭内の話題も出るため、信頼関係が大切であることを理解してもらう。</p> <p>◇「5 進行役について(1)子育てサロン型」参照。</p> <p>◇ワークシートにメモする時間がなければ、そのまま交流に入ってもよい。</p> <p>◇参加者が話しやすくなるよう、進行役が最初に困っていることや悩んでいることを話すときよい。</p> <p>◇時間配分を考え、全員に話す機会を与える。</p> <p>◇代表で1~2人に話してもらおう。</p>
20分	<p>振り返り</p> <p>「今日の話し合いを聞いて、よいと思ったこと、やってみようと思ったことは何ですか。」</p> <p>◆ワークシートに考えをメモし、交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもと家庭学習の時間を決めて、その時間は家族も落ち着いて過ごしたい。頑張りを褒めてやる気を引き出し、低学年のうちに習慣化したい。 <p>「いろいろな意見の中には、今日からいかせそうなヒントがありました。私は○○さんの△△という意見がなるほどと思いました。話し合うことで気持ちが軽くなった方もいらっしゃるでしょう。これからも積極的にこうした機会を活用してください。実践カードを使って家庭でもチャレンジしてみましょう。」</p>	<p>◇時間があれば、資料2、3を配布し、読む。</p> <p>◇進行役が参加者と同じ目線で「こんなヒントをもらった」という話ができるときよい。</p> <p>◇資料1を配り、各家庭での実践を促す。</p>